

化学は世のため、人のため。



# Sustainability Report 2022

シーシーアイグループ サステナビリティレポート

シーシーアイホールディングス株式会社

社長室 サステナビリティ推進プロジェクト  
岐阜県岐阜市橋本町2丁目20番地 濃飛ビル12階

<https://cci-corporation.com/>

# 化学は世のため、 人のため。

安心・安全・快適なモビリティ社会を実現したい。  
 落ち着いて暮らせる、静かな住環境を提供したい。  
 人々の健康で豊かな生活を支えたい。  
 環境に優しいモノづくりを突き詰めたい。

私たちシーシーアイグループは、  
 長年にわたり培ってきた化学の力を活用し、  
 豊かな社会と持続可能な地球環境の実現に貢献してまいります。



## 編集方針

シーシーアイグループは、すべてのステークホルダーの皆様へ当社グループのサステナビリティに関する考え方や取り組みをお知らせするために、今年度から本レポートをWebで発行します。E（環境）・S（社会）・G（ガバナンス）に対する事業活動を通じた取り組みに加えて、企業価値の向上を目指す目標も掲載しています。当社では、今後もサステナビリティ経営の推進に努め、継続して情報を開示してまいります。皆様からのご意見・ご感想をお寄せいただければ幸いです。



## Sustainability Report 2022

### ■対象期間

2021年4月～2022年3月

### ■対象組織

シーシーアイホールディングス（株）、シーシーアイ（株）およびシーシーアイグループ（国内・海外）

※ 本文中の「シーシーアイ」はシーシーアイホールディングス（株）およびシーシーアイ（株）の総称。「シーシーアイグループ」はシーシーアイおよび国内、海外の子会社の総称。

### ■参考としたガイドライン

GRIスタンダード（GRI）、ISO26000

### ■発行時期

2022年7月（毎年7月発行予定）

### ■担当部署・問い合わせ先

シーシーアイホールディングス（株）  
 社長室 サステナビリティ推進プロジェクト  
<https://cci-corporation.com/jp/contact/>

## 企業理念

# Change Create Innovate

変革への挑戦      創意工夫      経営革新

21世紀の豊かな環境の創造 技術的成果の知的活用

## 経営基本方針

「CHANGE」競争力を維持・向上させるため、  
 時代に合わせ、ビジネスモデルを変え、働き方を変える。



## Contents

- 02 目次・編集方針
- 03 トップメッセージ
- 05 シーシーアイグループについて
- 07 価値創造プロセス
- 09 サステナビリティの取り組み
- 11 ESG活動報告
- 13 環境
- 15 社会
- 18 ガバナンス



## トップメッセージ

# サステナビリティ経営の推進は、社員も会社も成長するための大きな挑戦だと考えています。

代表取締役社長 / CEO

岡部 鉄也



## Message

### 安心・安全の提供を基本理念として

この度、シーシーアイグループとして初めてとなるサステナビリティレポートを発行するにあたって、私よりご挨拶申し上げます。1949年の創業以来、当社グループはつねに安心・安全の提供を基本理念として、エンジンクーラント（冷却液）、ブレーキフルード（ブレーキ液）などを中心とするカーケミカル事業や防音材、制振材等の開発・製造に携わってきました。それは、何よりも自動車事故を減らしたいという強い信念に基づいたものでした。今日までの成長を支えてきたのは、社会や自動車メーカーの要請に応え、高い技術力に基づいたソリューションの提供、そして品質管理能力という私たちの強みにあると考えています。さらに、企業理念「Change Create Innovate 21世紀の豊かな環境の創造 技術的成果の知的活用」に掲げるように、つねに世の中に新しい価値を届けることを愚直にやり続けること、また単に高度な技術力を追求するだけではなく、顧客第一（Customer Focus）の開発を志向してきたことこそが、私たちの成長の礎になっていると考えています。

### 企業の担うべき社会的責任を深く認識する

この安心・安全をもっとも重視する理念のもと、私たちはサステナビリティ経営を事業の根幹に据えることとしました。現在の社会情勢・市場環境を見渡すと、気候変動やDX・IT化の急進、コロナ禍の拡大、世界情勢の変化などに加え、とりわけ100年に一度と言われる自動車業界の大変革が私たちの事業環境に大きな影響を与えています。電気自動車（EV）や自動運転など新たな技術革新が推し進められ、異業種からの参入も相まって、かつてない変革期に直面しています。私たちはこれらの変革を新たなチャンスと捉え、さらなる事業拡大に努めていく考えです。一方、このような大きな変動期にあって、私たちは非上場企業ですがサステナビリティ経営を根幹に据え、ESGに基づく目標を設定しました。これは、お客様や社員、さらには企業の担うべき社会的責任を深く認識するとともに、企業に対してもサステナビリティこそが評価の対象となる時代であるとの考えに基づくものです。この取り組みこそが私自身だけでなく、社員も会社も成長するための大きな挑戦だと考えています。

### 既存の姿に捉われない新たな価値の創出に努める

今後、私たちが目指す2050年の姿として、「人々の豊かな暮らしの実現」、「世の中にない新たな価値の創造」、「持続可能な社会への貢献」を掲げ、7つの重要課題に取り組んでいきます。既存の姿に捉われず新たな価値の創出に努めていく企業を、私たちのあるべき姿と認識し、2030年を目標とするESGのKPI※に基づいた全社による取り組みを進めていきます。KPIについては、事業部のKPIと個人は連動するものという考えのもと、社員個人にも設定しています。例えば、製造工程におけるロスを何%に抑制するかを定め、継続的な改善に努めることで、結果として全社の廃棄物削減を実現する。このようにESGの考え方、施策を社員レベルまで落とし込み、根気よく説明していくこと、またお互いに勉強していくことも私たちの挑戦のひとつだと考えています。当面の大きな課題として、CO<sub>2</sub>削減エネルギー対策プロジェクトを積極的に推進し、2030年度に30%削減（2019年度比）の目標に向けた取り組みを進めていきます。これを全社で挑戦することによって、当社製品・事業の付加価値の向上にもつながると考えています。

※ KPI：重要業績評価指標

### 付加価値を提供し続けることで社会とともに成長する会社でありたい

私たちは、2022年4月、サステナビリティ推進委員会を設置、本格的な活動を開始しました。サステナビリティ担当を各事業部に配置、月1回のプロジェクト会議を開催し、担当者がテーマを事業部に持ち帰ることで、サステナビリティ経営の全社浸透を図っていきます。担当者には若い社員が多く、ESGにも理解が深いため、その柔軟な発想と対応力に期待を寄せています。また、私たちは、人材こそ財産であるという考えのもと、今後のありたい姿のひとつとして、社員の豊かな暮らしの実現を目指していきます。サステナビリティ経営を進めていく中で、社員と会社がともに成長し、社員やその家族が自慢できる会社でありたい。そして、様々な活動を通じて地域社会にも貢献し、付加価値を提供し続けることで社会とともに成長する会社でありたいと考えています。

今後もステークホルダーの皆様のご理解、ご支援をお願いいたします。

# シーシーアイグループについて

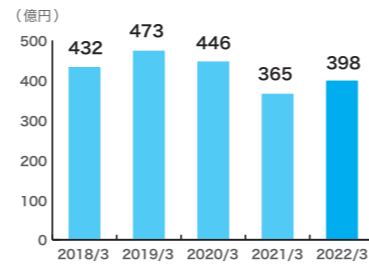
私たちは、顧客第一 (Customer Focus) の研究・開発を積み重ね、グローバルにビジネスを展開しています。

## ■会社概要

### シーシーアイホールディングス株式会社

本社所在地	岐阜県岐阜市橋本町2丁目20番地 濃飛ビル12階
創立年月日	2013年(平成25年)4月1日
振込済資本金	1,000万円
事業内容	グループ会社の経営管理および付帯業務、不動産の賃貸・管理、基礎研究
代表取締役社長	岡部 鉄也
従業員数	連結643名

### ■連結売上高の推移

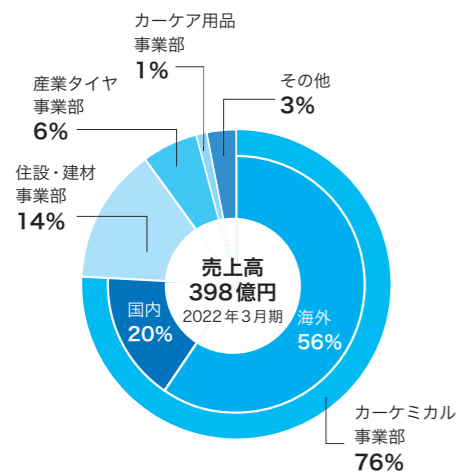


### シーシーアイ株式会社

本社所在地	岐阜県関市新迫間12番地
創立年月日	1949年(昭和24年)5月31日
事業内容	カーケミカル、カーケア用品、樹脂・ゴム製品、防音材・制振材等の開発・製造・販売
振込済資本金	12億6,000万円

## ■事業内容

4つの事業部と研究開発部から構成されるシーシーアイグループは、「安心・安全・快適」を軸とする研究を積み重ね、人と社会に役立つ新たな製品づくりに挑戦しています。高度化・多様化する市場ニーズに応える豊富な製品ラインナップを取り揃え、人々の豊かな暮らしに貢献し続けます。



### カーケミカル事業部

各自動車メーカーのOEMメーカーです。主にエンジンクーラント、ブレーキフルードを供給しており、何十年も変わらない安心感と安全性をお客様に提供しています。国内のみならず、世界中の自動車メーカーにご使用いただけるよう製造、供給体制を確立しています。今後は自動車業界の変革(内燃機関エンジンから排出ガスゼロ車のZEV)に対応できるよう、製品開発を積極的に行っています。

#### 主な製品・研究テーマ

- エンジンクーラント
- ブレーキフルード
- メタルラバー
- 長寿命ブラインECO
- ウインドウォッシャー液



### カーケア用品事業部

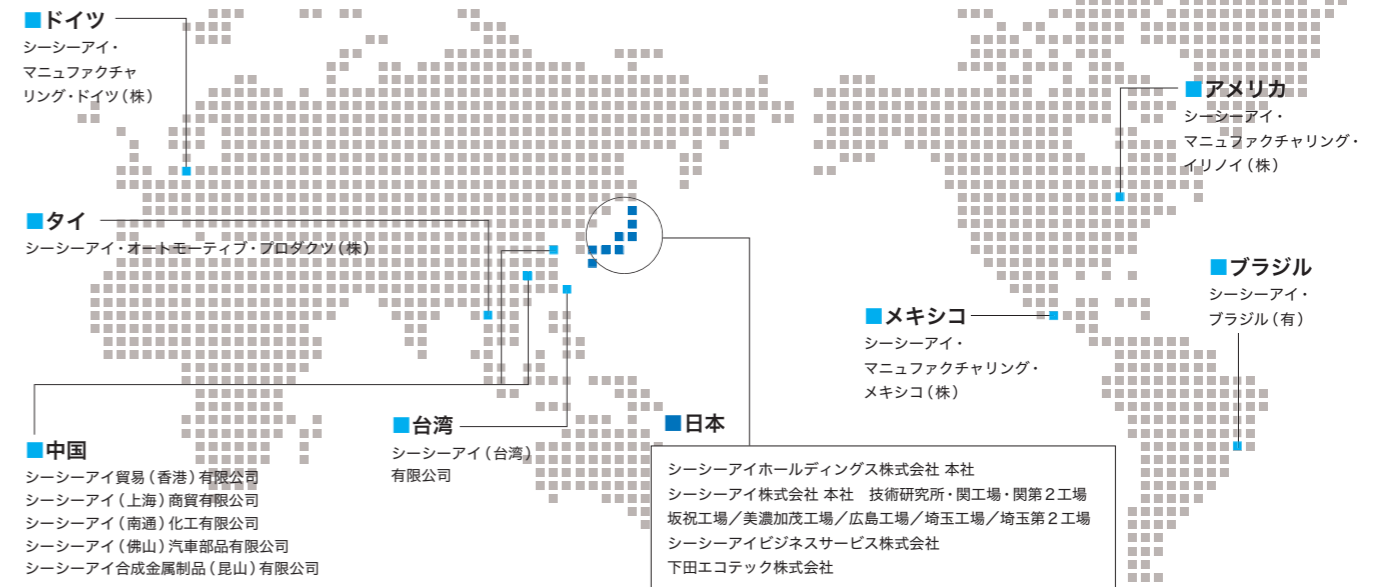
自動車用ボディコーティング剤・ガラスコーティング剤・各種ワックス・クリーナーを取り扱っています。「車のキレイをもっとカンタンに」をコンセプトにシリーズを展開。快適なカーライフを実現すべく、様々なカーケア用品の開発・改良、サービスの向上に全力を尽くしています。誰でもカンタンに施工できる製品をお客様の声の形に作りあげていきます。

#### 主な製品・研究テーマ

- ボディコーティング剤
- ガラスコーティング剤
- タイヤ・ヘッドライトケア用品
- 各種ワックス・クリーナー



## ■グローバルネットワーク



### 住設・建材事業部

音・振動エネルギーを吸収できる素材や遮音材、塩ビ管と一体化した防音排水管などを取り扱っています。戸建て住宅からアパート・マンションまで様々な分野のお客様へのご提供が可能です。お客様の住環境の改善に加え、現場の施工の手間や時間の短縮につながる製品のご提案も積極的に行っています。

#### 主な製品・研究テーマ

- 防音排水管
- 防火区画貫通部材
- 制振シート・制振塗料
- 吸音材



### 産業タイヤ事業部

熱硬化性ウレタンの中でも注型ウレタンをホイールに接着したウレタン車輪を主流に取り扱っています。安心・安全な走行に必要な不可欠なウレタンの接着性は他に負けないアドバンテージを持っており、マテハン機器や遊戯機器に多く使用されています。環境に優しい(抗菌性・導電性などを備えた)ウレタン車輪も品揃えし、設計段階からご要望をお伺いした上で小ロットから対応いたします。

#### 主な製品・研究テーマ

- 産業用ウレタン車輪
- ウルトランス
- ソリッドタイヤ



### 研究開発部

生物が持つ多様な機能を人々の暮らしに役立てるための研究開発を行っています。これまでに生活の質を向上させ健康に貢献できるサプリメントの開発や、水・土壌の汚染を浄化することで地球環境の保全につながる研究開発に取り組んできました。研究分野に縛りががないため幅広い分野へ挑戦でき、また大学との共同研究も行い、日々新たな可能性を追求しています。

#### 主な研究テーマ

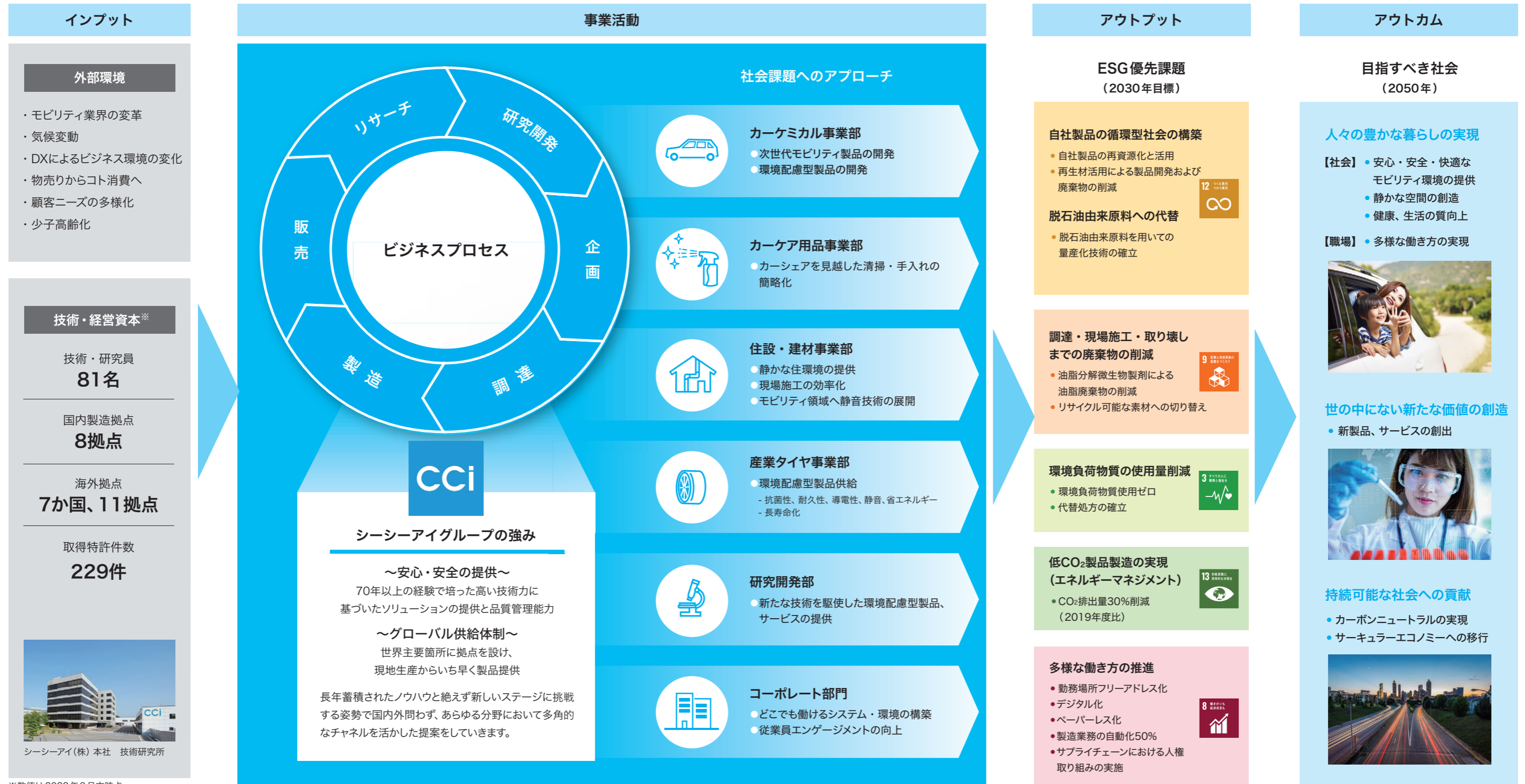
- 油脂分解微生物
- 植物エキス
- 中性脂肪センサ
- 新規制振材料



# 価値創造プロセス

これまで培ってきた技術的成果を活用し、人々の豊かな暮らしに貢献する新たな価値を創造し続けます。

## 企業理念 **Change Create Innovate** 21世紀の豊かな環境の創造 技術的成果の知的活用



※数値は2022年3月末時点

## サステナビリティの取り組み

公正で誠実な企業活動を通じて「持続可能な社会の実現」と「企業価値向上」の両立を図り、企業としての社会的責任を果たしていきます。

### ■サステナビリティ基本方針

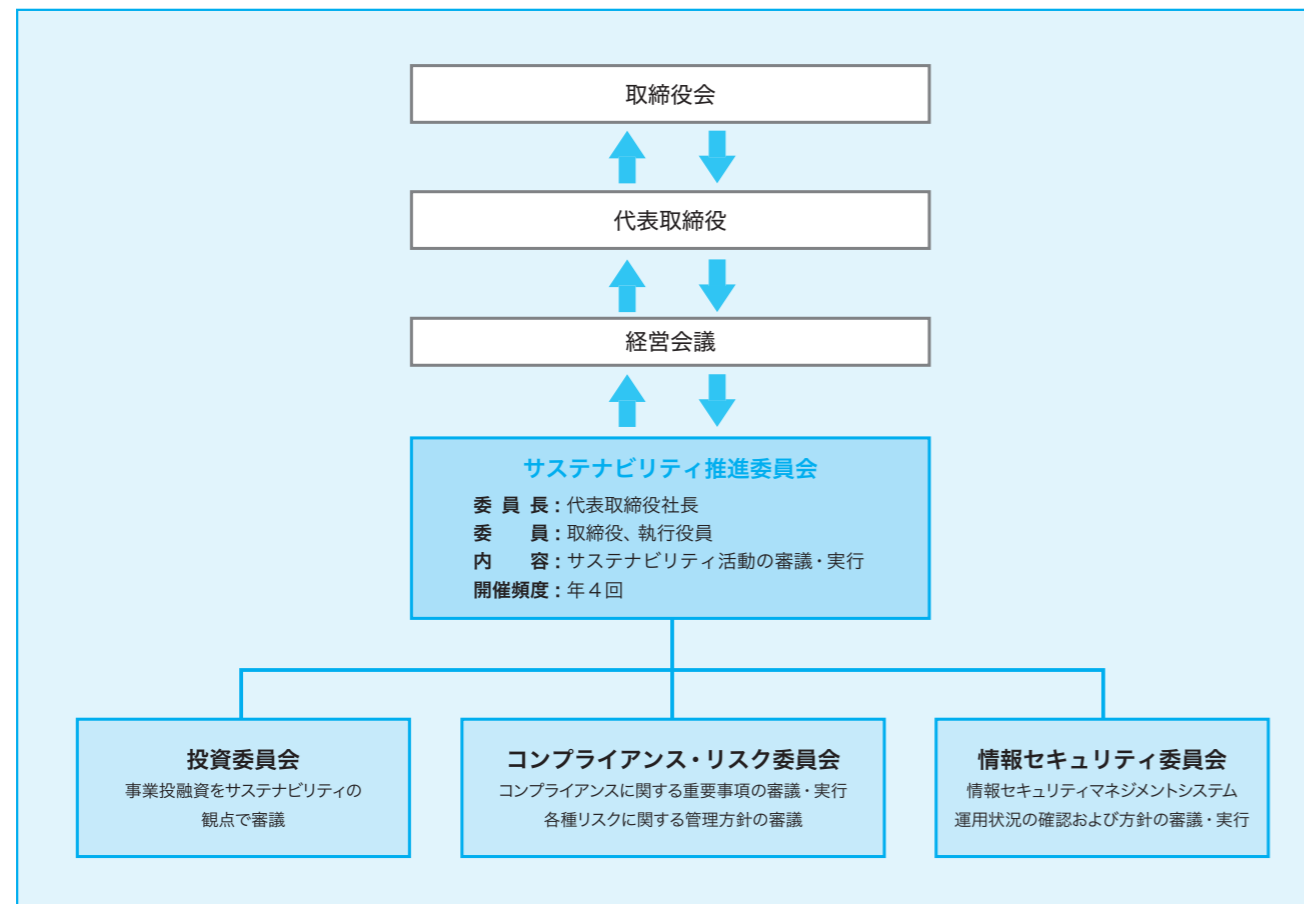
#### サステナビリティ基本方針（抜粋）

シーシーアイグループは、「Change Create Innovate 21世紀の豊かな環境の創造 技術的成果の知的活用」という企業理念に基づき、すべてのステークホルダーと責任ある対話を行い、公正で誠実な企業活動を推進し、「持続可能な社会の実現」と「企業価値向上」の両立を目指し、社会的責任を果たします。

サステナビリティ基本方針（全文） [https://cci-corporation.com/download/CCI\\_Sustainability\\_policy.pdf](https://cci-corporation.com/download/CCI_Sustainability_policy.pdf)

### ■サステナビリティ推進体制

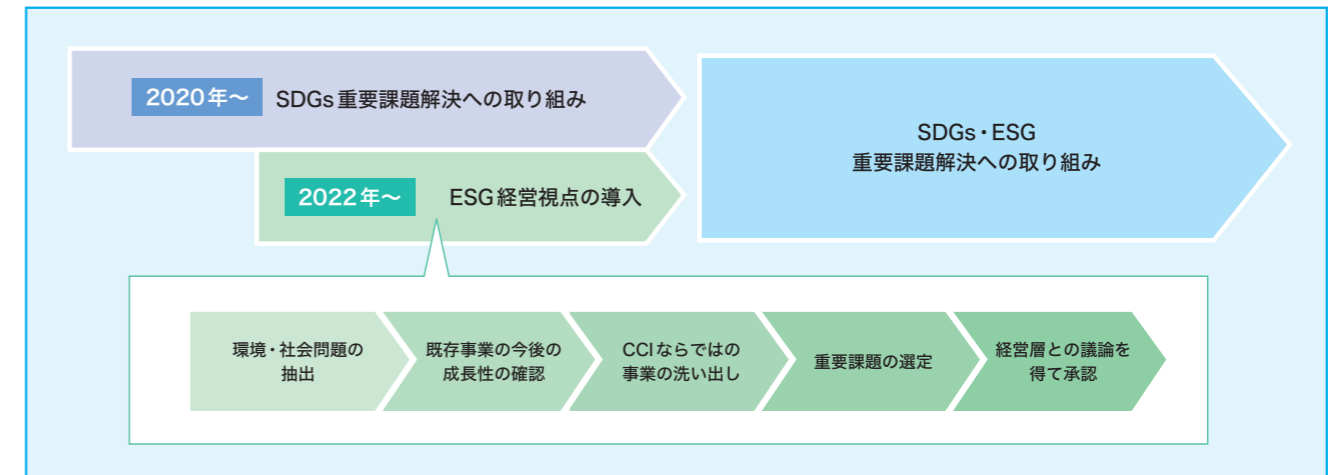
サステナビリティ活動を推進するにあたって、2022年4月に代表取締役社長を最高責任者とする「サステナビリティ推進委員会」を設置し、その下部組織として「投資委員会」「コンプライアンス・リスク委員会」および「情報セキュリティ委員会」の専門委員会を設置しました。定期的に委員会を開催し、各種の活動に取り組んでいきます。



### ■シーシーアイグループのマテリアリティ

シーシーアイは2020年に5つのSDGs重要課題を選定し、これらのSDGs課題を達成するために活動を推進してきましたが、持続可能な社会の実現、企業価値の向上のため、さらにESG経営の視点を取り入れ、マテリアリティ（重要課題）を選定しています。そのため2021年にサステナビリティ推進プロジェクトを立ち上げ、既存事業や今後の事業活動を通じて環境・社会問題の解決に向け、外部視点も取り入れ評価いたしました。これらの課題を達成するために、各事業部でKPIを設定しています。

### ■ESG優先課題特定のプロセス



### ■ESG優先課題

活動領域	重要課題	優先課題（具体的取り組み）
事業活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>安心・安全・快適なモビリティ環境の提供</li> <li>静かな空間の創造</li> </ul>	次世代モビリティ向け製品の開発 新たな技術を駆使した環境配慮製品、サービスの提供
	<ul style="list-style-type: none"> <li>サーキュラーエコノミーへの移行</li> </ul>	使用済製品の回収～再資源化のビジネスモデルの構築 リサイクル可能な素材への切り替え
	<ul style="list-style-type: none"> <li>健康、生活の質の向上</li> </ul>	脱石油由来原料製品の開発 特定化学物質、環境負荷物質の管理および使用の削減～使用ゼロ
全社活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>カーボンニュートラルの実現</li> </ul>	スポーツ振興を通じて地域社会貢献活動の推進 Scope1, 2対象CO <sub>2</sub> 排出量 2019年度比 30%削減 Scope3の算定、監視
	<ul style="list-style-type: none"> <li>多様な働き方の実現</li> </ul>	従業員エンゲージメントの向上 業務可視化とデジタル化による生産性向上、ペーパーレス化
	<ul style="list-style-type: none"> <li>人権に対する取り組み</li> </ul>	人権デュー・ディリジェンスプロセスの構築 サプライチェーンにおける人権の取り組み

# ESG活動報告

シーシーアイグループでは、「ESG（環境・社会・ガバナンス）重要課題」と「SDGs（持続可能な開発目標）」の目標を関連づけ、「企業価値向上」と「持続可能な社会の実現」の両立を目指したESG活動に取り組んでいます。

## シーシーアイのSDGs重要課題

SDGsターゲット	優先課題の例	KPI 2030	KPI 2021 結果
12 持続可能な消費と生産	自社製品の循環型社会の構築 脱石油由来原料への代替	再資源化し活用する 量産化技術の確立	調査・評価の実施 性能評価技術 5件確立
9 産業と技術革新の基盤をつくろう	調達～現場施工～ 取り壊しまでの廃棄物の削減	油脂分解微生物製剤による 油脂廃棄物の削減	営業体制を強化し、 微生物製剤の拡販を実施中
3 持続可能な健康と福祉	環境負荷物質の使用量削減	環境負荷物質の使用ゼロ	環境負荷物質代替 処方1件確立
13 気候変動に具体的な対策を	CO <sub>2</sub> 排出量削減	2019年度比で▲30%	現状把握完了 2030年に向けたロードマップ作成
8 働きがいも経済成長も	どこでも働けるシステム・ 環境の構築	勤務場所のフリーアドレス化 デジタル化 ペーパーレス化	クラウドアプリを展開しテレワーク率向上
	従業員エンゲージメントの向上	従業員エンゲージメント向上	エンゲージメントサーベイ結果向上に 向けた取り組みを実施 (1on1面談の導入、職場環境の整備ほか)
	新技術導入による自動化	製造業務の自動化50%	SFP (スマートファクトリープロジェクト) 生産設備との連携運用導入

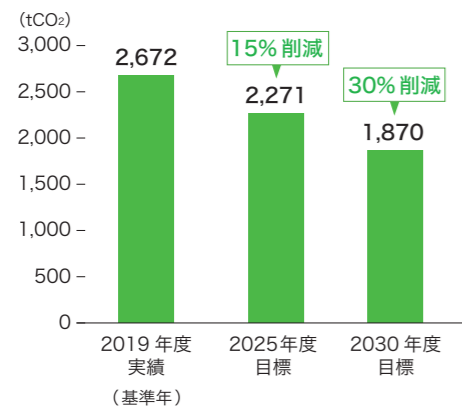
## Highlight

### CO<sub>2</sub>排出量を削減するためのロードマップを策定



シーシーアイは、2030年度に向けたCO<sub>2</sub>排出量削減ロードマップを策定し、CO<sub>2</sub>削減エネルギー対策プロジェクトを立ち上げました。今後は、グループ全体で温室効果ガスの排出を抑制し、気候変動への取り組みを強化します。

#### ■シーシーアイのCO<sub>2</sub>排出量 (Scope 1, 2)



### 新しい油脂分解微生物製剤の開発に成功



油脂分解微生物製剤「オイルバニッシュ」は、食品工場などの排水に含まれる油脂を強力に分解し油脂廃棄物量を大幅に削減します。また、排水中のn-Hex（ノルマルヘキサン抽出物質含有量）を大幅に削減し法規制を満足するだけでなく、油脂の腐敗などによる悪臭を低減し環境保全にもつながります。

2018年から販売を開始し、これまでに多くの食品工場で導入され、その効果が実証されています。今後も、さらなる販売活動の強化により、油脂廃棄物の削減に貢献していきます。



油脂分解微生物製剤「オイルバニッシュ」

### 働きやすい職場環境、フリーアドレススペースを導入

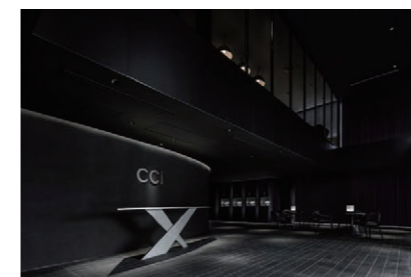


— 日本の文化、その土地の文化、企業の文化を体感してもらおう体験型ワークプレイスの構築

シーシーアイは、2021年6月にリブランディングの一環として、シーシーアイ本社を訪れるお客様と働く社員に、ワークプレイス全体で変化を体験してもらえよう、「XD (EXPERIENCE DESIGN) ～新たな働き方と五感で楽しむ、それらが交わることで新化が生まれる。ここから新しい体験がはじまる～」をコンセプトにリニューアルしました。

社員が自由に利用でき、自由な発想、働き方を促す空間、他部署と交流できる場を創造しました。

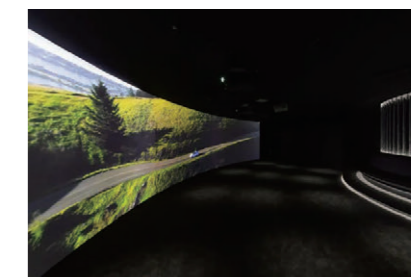
Web会議や共同作業に便利なコラボレーションデバイスを設置した会議室、業務に集中したい時やWeb会議に利用できる個人ブース (WORK POD)、必要な時にすぐ集まってミーティングを行えるハドルルームなど、目的や活動に応じて使い分けができるオフィスレイアウトとしました。また、フロアの照明は、所定終業時刻に自動的に消灯することで、残業時間の抑制も促しています。



ロビー



WORK POD



XDシアター



## 環境 Environment

シーシーアイグループは、「2050年カーボンニュートラル」に向けて、温室効果ガスの削減、環境に配慮した製品の提供やシーシーアイグループならではの技術を活かし、地球環境の保護活動に積極的に取り組んでいます。

### 環境マネジメント

#### 環境マネジメントシステム

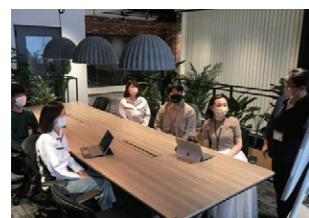
シーシーアイグループは、全社員が共通の認識を持って環境対策に取り組むべく、ISO14001に基づく環境マネジメントシステムを導入し、環境への取り組みについて計画し、実施・レビューを行い、継続的な改善を進めていきます。認証未取得の拠点においては、認証の取得に努めています。

ISO14001  
認証取得

**6**拠点  
(2022年3月時点)

#### 環境教育

シーシーアイは、定期的に全従業員を対象に環境教育を行っています。身近に起きている環境問題や行動規範を紹介し、部門別に環境問題にどのように取り組んでいくべきか議論し、目標を立て、実行しています。これからも教育を継続し従業員の環境知識と認識の向上に努めていきます。



環境教育受講の様子(2021年6月)

定期環境教育  
受講率

**100%**  
(2021年度)

### 法規制対応

シーシーアイは、「毒物及び劇物取締法」(毒劇法)における輸入・販売業登録管理、記録保管義務や、「容器包装に係る分別収集及び再商品化の促進等に関する法律」(容器包装リサイクル法)に基づくリサイクルなど、多岐にわたる法令を順守しています。

### 気候変動への取り組み

#### 温室効果ガスの削減

シーシーアイは温室効果ガス排出量削減の取り組みとして省エネルギー活動や再生可能エネルギーの利用を推進していきます。Scope1,2における自社CO<sub>2</sub>排出量を2030年までに2019年度比で30%削減するという中期目標を設定しています。生産活動における排出量削減のためアクションプランを設定し、排出量削減に取り組んでいきます。また、気候変動の影響は年々深刻さを増し、気候変動が原因のひとつとされる異常気象・自然災害が多発しています。気候変動に伴う外部環境の変化によって及ぼされるリスクへの適切な対応を進めるとともに、新たな事業機会の想定も踏まえた複数のシナリオを検討・準備をしていきます。

#### CO<sub>2</sub>排出量削減に向けた主な取り組み

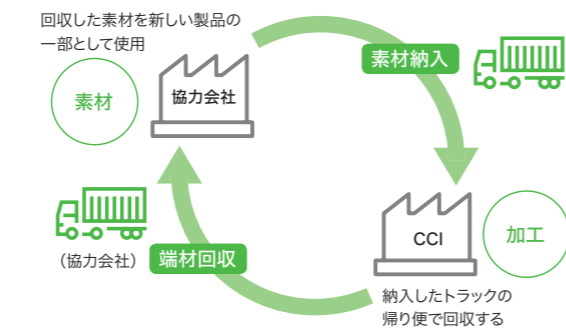
- CO<sub>2</sub>削減エネルギー対策プロジェクトの発足
- 社内カーボンプライシング(ICP)の導入
- 全社用車のハイブリッド化(2025年まで)
- 工場屋根 遮熱・断熱シートの導入

### 廃棄物の抑制

#### サーキュラーエコノミーの実現に向けて

シーシーアイは行動規範に基づき、サーキュラーエコノミーの実現に向けて活動していきます。生産時に発生する廃棄物の削減を図るとともに、リサイクル資源を有効活用し新たな資源投入を抑えた製品生産を推進していきます。また、自社製品の再資源化と活用に向けて取り組んでいきます。

#### 遮音シートの資源循環



実績  
遮音シート端材の再利用 85t/年(2021年度)

### 製品の環境貢献

#### 製品の長寿命化

シーシーアイは、製品の長寿命化の実現に向けて各事業部で技術研究をしています。

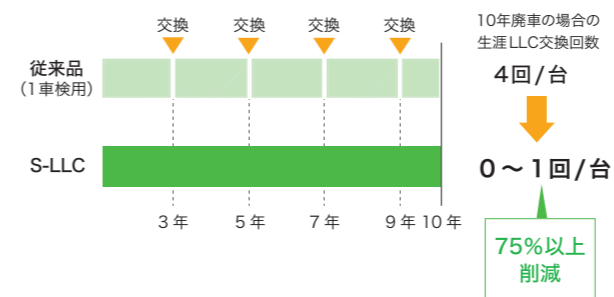
#### ①長寿命エンジンクーラント

##### 「スーパーロングライフクーラント」

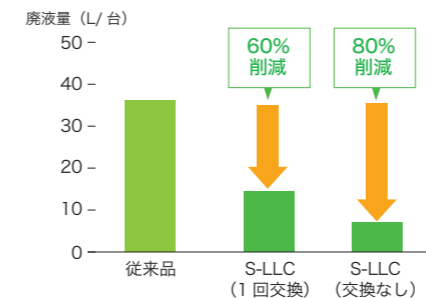
一般的に冷却液と呼ばれる「エンジンクーラント」は、車のエンジンを冷やしてオーバーヒートを防ぐ役割を担っています。シーシーアイでは、防食耐久性を飛躍的に向上させ従来品の4倍以上の長寿命化を実現。長寿命タイプは「スーパーロングライフクーラント」(以下=S-LLC)といい、耐用年数が長く、交換で出る廃液を大幅に削減するとともに使用量減による省資源化、ユーザーのメンテナンスコスト削減を実現した環境にもお財布にも優しい製品です。

世界的に、ガソリン車から電気自動車へのシフトが加速しています。進化する自動車に求められる機能やサービスを調査し、日々、新しい製品開発に取り組んでいます。

#### S-LLCの交換回数



#### S-LLCの廃液量削減割合



※10年廃車の場合の生涯廃液排出量  
※冷却液量7Lで計算

#### ②長寿命ウレタンタイヤ

##### 「ウルトランス」

ウレタンタイヤ「ウルトランス」を開発し、世界最高レベルの耐久性と耐熱性を実現しました。動的性能に優れ、高速走行時の耐久寿命が飛躍的に向上します。熱の蓄積による

バーストを防ぎ、優れた高反撥弾性と低い始動抵抗力は、各種搬送車の走行性能と安全性を高めます。また、引裂強度が高く、クラックが極めて発生しにくいタイヤです。優れた耐磨耗性は、従来の高性能ウレタンタイヤをしのぎ、摩耗寿命も大幅に向上しました。



ウレタンタイヤ「ウルトランス」

耐久寿命  
※当社従来品比較

**3倍以上**  
(当社試験による)

### TOPICS

#### 環境に配慮した容器包装への転換

シーシーアイは、環境保護を目的とし、容器包装のボトル変更、つかかえ用・つけかえ用製品を販売することによりプラスチック使用の抑制および家庭のごみの削減を図っています。また、2020年12月以降に開発した製品は、FSC認証(責任ある木質資源を使用)を受けた容器を使用しています。2020年11月以前の製品については、順次、切り替えを行っていく予定です。

#### ①ボトル変更

##### プラスチック使用量

**75%削減**※



#### ②つかかえ用

##### プラスチック使用量

**92%削減**※



#### ③つけかえ用

##### プラスチック使用量

**19%削減**※



※プラスチック使用量は、液体重量あたりのプラスチック重量から算出した数値(当社従来品比較)





## 社会 Social

シーシーアイグループは行動規範に基づき、安全を最優先した行動、お客様の満足度の向上に努めています。また、地域社会と積極的に交流を行い、事業を活かした活動や社会の課題に応える活動を通して、持続的な社会貢献を目指していきます。

### 品質

#### 品質保証への取り組み

シーシーアイグループは製品の安全品質を支えるため、品質マネジメントシステム (ISO9001) の認証を取得し継続的な改善を推進しています。

お客様からのクレームに関しては、お客様の安全を第一として迅速かつ適切に対応しています。また、ISO9001に基づき是正処置の規定を制定し、本質的な原因を究明、再発を防止するため適切な対策を講じ、標準化による再発防止に努めています。

#### 品質マネジメントシステム外部認証 (2022年3月時点)

ISO9001 認証	7 拠点
IATF16949 認証	4 拠点

#### 品質教育

シーシーアイは品質教育を定期的実施しています。全従業員を対象とした教育では、教育終了後に理解度の確認を行い、品質知識の向上に努めています。製造部門では外部コンサルタントの助言をもとに、品質意識・生産性向上を目的とし若いリーダーが中心になり持続可能なテーマを掲げ、関連部署が協力して活動しています。コロナ禍においてもオンラインを用いて教育やコンサルを実施し、社員の品質への意識を高めています。



### 安全衛生

#### 労働安全衛生への取り組み

シーシーアイは労働災害リスクの低減・管理のため、労働安全衛生マネジメントシステム (ISO45001) を全拠点に構築し、安全・防災標準を策定し、リスク評価基準に基づき、工場や研究棟などでの労働災害リスクの軽減に取り組んでいます。リスク評価を実施して様々なリスクを特定するとともに、重傷につながるリスクを軽減するために、工学的な対策の導入や適切な作業手順の整備を推進しています。新たに設備を導入する際や新たな業務手順あるいは業務手順の変更が発生した場合などにも、リスク評価を行っています。今後も引き続き、労働災害発生件数ゼロの目標に向け、業務時・通勤時双方での安全対策強化と、従業員の安全意識向上に努めていきます。

また、職場環境などに問題がないか確認しているほか、年に1回従業員へのストレスチェックも実施しています。従業員代表も参加する「安全衛生委員会」を月に1回開催し、産業医から助言を受けながら職場の安全チェックも含めた職場環境の改善、労働災害の防止策・再発防止策、従業員の健康に関するテーマについて協議しています。



### 人権の尊重

#### 人権尊重への取り組み

シーシーアイグループは、「Change Create Innovate 21世紀の豊かな環境の創造 技術的成果の知的活用」の企業理念のもと、時代に合わせてビジネスモデルを変えながら、これまでにない付加価値を絶えず社会に提供するために尽力しています。私たちは、人権尊重を事業継続のために果たすべき最重要の責務のひとつと位置づけ、「シーシーアイグループ人権方針」を2021年に策定し、研修を実施しました。

今後は、人権に関する専門知識を有する外部コンサルタントの助言をもとに、人権デュー・ディリジェンス実施のため、リスクの把握、調査・分析を進めていきます。

#### 人権方針 (全文)

[https://cci-corporation.com/download/Human\\_rights\\_policy.pdf](https://cci-corporation.com/download/Human_rights_policy.pdf)

### お客様とともに

#### 顧客満足度向上への取り組み

シーシーアイは、顧客満足度の向上を図るために、日常の活動を通して直接頂戴するお客様の声や、定期的に行っている「お客様満足度調査」でのアンケートのご回答、顧客窓口へ寄せられるお客様の声を真摯に受け止め、その貴重なご意見を各部門の改善活動へつなげています。また顧客窓口担当者を対象に電話対応マニュアルを整備し、電話対応スキル教育を実施しています。今後は、お問い合わせに対して、より迅速に対応ができる体制を整えていきます。

### 取引先様とともに

#### CSR 調達の取り組み

シーシーアイは従来の品質・性能・価格・納入条件を重視した調達活動から自然・労働環境・人権等といったCSR要素も重要視した調達活動に向けて取引先様 (サプライヤー) とともに取り組んでいきます。

シーシーアイは事業の持続性に影響を及ぼす可能性のあるリスクを低減することを目的にCSR調達ガイドラインを制定し、取引先様にご理解していただいた上で、サプライチェーン全体に展開していきます。

また、その状況を確認するため、CSRガイドラインの順守状況や紛争鉱物調査等のアンケート調査 (SAQ) を訪問、面談などを通じて推進し、取引先様とともに事業の持続性を確保していきます。

### 社員とともに

#### 人材育成

シーシーアイは経営基本方針に基づき、教育制度を充実させ人材育成をサポートしています。新入社員研修をはじめとした階層別研修の取り組みや外部講師によるスキルアップ研修、ビジネス英会話研修を実施しています。また、従業員が業務に関する資格を取得することを奨励するため資格取得報奨金給付制度を定めています。

#### 研修一覧

階層	階層別研修	テーマ別研修	部門別研修	自己啓発
管理職	新任部長研修 新任グループマネージャー研修	人権 行動規範 安全衛生 環境・品質 情報セキュリティ 避難訓練 ハラスメント	各部門で実施	社外セミナー 社内勉強会 ビジネス英会話研修 eラーニング 資格取得報奨金給付制度
中堅社員	新任リーダー研修 昇格時研修			
若手 新入社員	3年目研修 新入社員研修			
内定者	内定者研修 (入社前)			

### 働きやすい職場づくり

シーシーアイは働きやすい職場環境をつくることにより、すべての従業員が仕事と生活の調和を図りながら、その能力を十分に発揮できるようにするため、ワークライフバランスの推進ならびに多様な働き方、女性の活躍推進の実現に取り組んでいます。2020年度には「岐阜県ワーク・ライフ・バランス推進エクセレント企業」に認定されました。

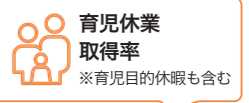


#### 〈多様な働き方・テレワークの導入〉

スーパーフレックスタイム制や副業・兼業制度の導入、定年退職年齢を60歳から65歳へ延長し、その人に合った働き方ができるようにすることでワーク・ライフ・バランスの向上を図りました。また、コロナ禍以前からテレワークの導入を計画し、2020年8月にテレワーク勤務制度を導入しました。導入にあたっては、社内インフラを整備しどこでも働ける環境を整備しました。今後は、時間や場所に捉われない柔軟な働き方ができる制度を活用した多様な人材の確保とさらなる働きやすい職場環境の実現を進めていきます。

#### 〈育児と仕事の両立〉

子育てをする従業員に対し、短時間勤務制度と育児休業期間の利用期間を延長しました。2020年度には育児休業だけでなく、育児目的休暇を制定 (5日) し、男性でも育児に参加しやすい体制を構築しました。また、2021年度には「関市女性が働きやすい職場」の認定を取得しました。これからの子どもの成長に合わせた仕事と育児の両立、男性の育児参加を支援し、様々な施策に取り組んでいきます。



#### 生産性の向上

シーシーアイは各部門における業務システムの統合やデータベースの一元化などにより、業務の標準化や自動化を推進し、会社全体における生産性のさらなる向上に取り組んでいます。2019年度にはRPA (業務自動化ロボット) を導入しました。今までは手作業で行っていた受注システムへの入力や毎月行う売上高の集計が自動化され、作業時間、それにかかるコスト、人的ミスが大幅に削減されました。今後は毎年1,000時間以上の作業時間削減を目標に掲げ、生産性の向上を継続的に追求し、企業価値を高めることに努めていきます。



社会貢献活動

研究助成プログラムの実施

シーシーアイは新規事業の実現につながる新しい価値を若手研究者の方とともに生み出すことを目指し、そのために必要な技術を確立する研究、およびその基礎となる科学技術開発に対して助成を行っています。



地域の学生・選手を支援

シーシーアイは未来を担う学生の活動や地元選手を支援、応援しています。

①学生フォーミュラ

学生フォーミュラでは学生たちが車両の設計、部品調達、製作を行い、その総合力を競います。シーシーアイは協賛金と製品を提供することで、学生たちにもづくりの機会を楽しんでいただくことを目的としています。

②岐阜大学 iGEM

iGEM Gifuは、iGEM(学生向けの世界合成生物学大会)出場を目指す岐阜大学の学生による研究サークルです。2014年にアメリカのボストン市で開催されたiGEMに東海地方の大学として初めて参加し銀賞を受賞しました。2021年にはオンラインで開催された iGEM Giant Jamboreeに出場し、見事金賞を受賞しています。今後も様々な研究テーマで世界を舞台に輝く学生を応援します。

③モトクロス 土屋元希選手

2015年度より岐阜県出身のモトクロスライダー、土屋元希選手(京都ポプキャット所属)へ、競技車両運搬車のメンテナンスができるよう製品の提供を行っています。可能な限り挑戦し続ける、若き選手にエールを送ります。



製品提供を通してモータースポーツ業界に貢献

TOYOTA GAZOO Racing

TOYOTA GAZOO Racing World Rally Teamとは2017年からパートナーシップを締結し、ブレーキフルードおよびエンジンクーラントを、ヤリスWRCに提供しています。2022年11月にはWRC最終戦ラリー・ジャパンが岐阜県を舞台に開催されるため地元企業として協力し盛り上げていきます。

ほかにも鈴鹿サーキットやARTA(AUTOBACS RACING TEAM AGURI)への協賛を通じ、モータースポーツの活性化を願い貢献しています。



FIA世界ラリー選手権(WRC) 第1戦ラリー・モンテカルロ (2022年1月開催)

© TOYOTA GAZOO Racing World Rally Team 2022



ガバナンス Governance

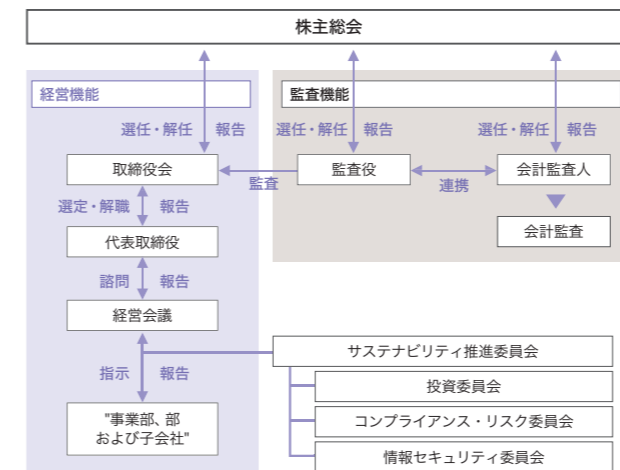
シーシーアイグループは、経営の透明性を高めながら監督機能の強化と意思決定の迅速化を図り、コンプライアンスを確保することをコーポレート・ガバナンス上の最重要課題と位置づけており、コーポレート・ガバナンス体制の強化・充実を推進することにより、企業価値の向上を目指しています。

コーポレート・ガバナンス

シーシーアイは従業員をはじめ、株主様・お客様・取引先様・地域社会などすべてのステークホルダーを意識した、透明・公正かつ迅速・果敢な意思決定ができるよう、下図のとおりコーポレート・ガバナンス体制を構築しています。

最高経営意思決定機関である取締役会は、法令に定められた事項や経営に関わる重要事項の決定、取締役の監視機関として位置づけています。一方で公正・独立の立場から社外監査役を含めた、監査役が取締役の職務執行、経営の監査を行う体制を構築しています。

■コーポレート・ガバナンス体制図



コンプライアンス

シーシーアイは、行動規範に基づき、透明・公正かつ迅速・果敢な意思決定を行うためにコーポレート・ガバナンスの仕組みに従い、コンプライアンス、リスクマネジメントを会社存続に関わる活動であり、また、ステークホルダーからの信用を得るために必須の活動であると捉え、コンプライアンス・リスク委員会を設置し、コンプライアンス・リスク管理に関する全社活動方針および重点課題ならびに重点リスクの設定を行っています。

〈内部通報〉

シーシーアイグループは法令違反、不正行為による不祥事の防止、早期発見、ならびに自浄作用を発揮する透明性の高い職場環境を育成し、コンプライアンス経営を推進することを目的として、内部通報システムを導入しました。

従来のハラスメント相談窓口とは別に、社員からの相談事や内部通報を受け付ける社外窓口と社内窓口を設置しています。通報案件は、コンプライアンス・リスク事務局が事実関係の調査、是正措置、再発防止策の実施、適宜フォローアップを実施し、適切に処理します。通報者・通報内容の守秘義務を負い、通報したことで不利益な取り扱いを受けないことを保証しています。

正しい知識の定着、意識の醸成を図るため、毎年以下の研修を実施しております。

- ・行動規範教育
- ・ハラスメント研修



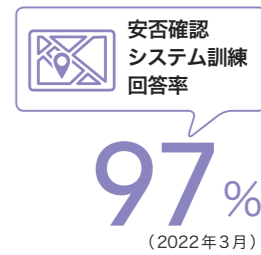
リスクマネジメント

事業継続計画 (BCP)

シーシーアイは、緊急時対応計画(ERP)・危機管理計画(CMP)・事業継続計画(BCP)マニュアルを策定し、事業継続管理(BCM)体制を構築しました。毎年の定期的な見直し・訓練の実施を行うことで有事の際、誰もが動ける備えができるよう取り組んでいます。



総合防災訓練の様子(2021年11月)



TOPICS スポーツ振興を通して地域に貢献

■ふどりの森トレイルラン

シーシーアイ(株)本社がある岐阜県関市と、各務原市、坂祝町にまたがって行われるトレイルラン大会を応援しています。本大会は地域活性化と、地元の歴史や自然に親しむことを目的に開催されており、当社は社会貢献・地域貢献活動の一環として2020年より協賛を継続しています。シーシーアイ(株)からランナー出場のほか、従業員がボランティアスタッフとして大会運営をサポートしています。



ふどりの森トレイルランの様子 (2022年5月) ※コロナ禍のため2021年は中止

■シーシーアイカップ第2回岐阜県U-9 サッカー大会

2020年度より、岐阜県U-9 サッカー大会、岐阜選抜大会U-11・12県予選に協賛しています。2022年1月には「シーシーアイカップ第2回岐阜県U-9サッカー大会」を開催しました。岐阜県内の多数のチームの中から予選を勝ち抜いた8チームが参加し、優勝したチームにはシーシーアイオリジナルトロフィーと優勝旗を贈呈。子どもたちの元気な笑顔が溢れる大会になりました。これからも子どもたちの心身の健やかな育成を支援していきます。



シーシーアイカップ第2回岐阜県U-9 サッカー大会の様子(2022年1月)